

MEMBERS



研究所長
鷺尾 隆
Washio Takashi
工学博士
大阪大学 産業科学研究所 教授

神戸製鋼は、現実のさまざまな産業に根差した問題意識と課題設定力を持ち、ソリューションのデジタル化も含め、解決していくための取り組みをきちんとしている、技術的なレベルも非常に高い会社だと思っています。そこに、大阪大学の知見や研究成果を掛け合わせ、課題解決を実現していかなければなりません。



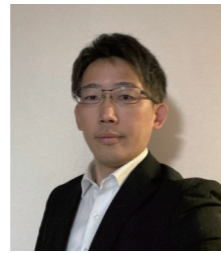
切削加工PJリーダー
赤澤 浩一
Akazawa Koichi
博士(工学)
大阪大学 産業科学研究所 招へい教授
(株)神戸製鋼所 技術開発本部
材料研究所 担当部長

切削加工技術×AI技術の可能性を最大限に発揮し、未来のものづくりの実現に向かって、多様なメンバーと一致団結で取り組んでいきます。



副所長
友近 信行
Tomochika Nobuyuki
博士(情報学)
大阪大学 産業科学研究所 特任教授(常勤)
(株)神戸製鋼所 技術開発本部
デジタルイノベーション技術センター 専門部長

神戸製鋼のものづくりは多種多様で、汎用的な手段だけで解決できるような課題はほとんどありません。現場の実態や課題の本質を理解し、さまざまな専門技術と現場のノウハウを掛け合わせ、現場に寄り添ったソリューションでものづくりを進化させてきました。大阪大学の素晴らしい研究者の方々と皆様とともに、未来に導くソリューションを創っていきます。



成形加工PJリーダー
伊原 涼平
Ihara Ryohei
博士(工学)
大阪大学 産業科学研究所 招へい准教授
(株)神戸製鋼所 技術開発本部 ソリューション技術センター
マルチマテリアル構造研究室 主任研究員

困難かつ未知な取り組みではありますが、メンバーの知恵を集結させ一歩一歩前進しつつ、挑戦していきます。

切削加工PJ 技術統括

原 聡
Hara Satoshi
博士(工学)

大阪大学 産業科学研究所 准教授

成形加工PJ 技術統括

福井 健一
Fukui Kenichi
博士(情報科学)

大阪大学 産業科学研究所 准教授

企画マネジメント

加藤 淳
Kato Jun
博士(工学)

大阪大学 産業科学研究所 招へい教授
(株)神戸製鋼所 技術開発本部
ソリューション技術センター 担当部長

企画マネジメント補佐

高橋 英二
Takahashi Eiji
博士(工学)

大阪大学 産業科学研究所 招へい教授
(株)神戸製鋼所 技術開発本部
デジタルイノベーション技術センター 主任部員

技術マネジメント補佐

檜崎 博司
Narazaki Hiroshi
博士(工学)

大阪大学 産業科学研究所 招へい教授
(株)神戸製鋼所 技術開発本部
デジタルイノベーション技術センター シニアプロフェッショナル

ACCESS

〒567-0047
大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1 大阪大学 産業科学研究所内



公式HP



お問い合わせフォーム



大阪大学産業科学研究所
へのアクセス情報



KOBELCO
未来
協働研究所
KOBELCO Future Pioneering
Co-Creation Research Center



ABOUT US

『 想 い 』

KOBELCO未来協働研究所は、大阪大学と神戸製鋼が取り組む新規事業創造プラットフォームです。ものづくり産業が抱える課題の解決において、神戸製鋼がもつ様々なものづくりの経験/技術と、大阪大学のもつAIをはじめとした先端技術/科学力を掛け合わせて社会実装していくことを目指しています。当研究所は、大学の様々な学術領域の研究者との連携も可能な共創組織であることを一つの特徴としています。また、産学の協働研究所でありながら「要素技術の深掘」ではなく「新規事業創出」に軸足を置いたこれまでにない研究所です。

私たちは、具体的にはまだない、使ってみて初めて価値に気づくような、現場や社会に感動を与えるソリューションを生み出したいとの想いを持って活動しています。まずは、KOBELCOの多種多様な事業で培われた金属機械加工技術を大阪大学のAI研究者と連携してアイデア出しから進めています。未来のありたい姿と、日本のものづくり企業が抱える「困りごと」を起点に、幅広い産業分野のリアルな現場で本当に使える、地に足の着いたソリューションを生み出していきます。

生産プロセスの革新、より付加価値の高い業務への転換、人材育成・技能継承など、ものづくりの現場で日々直面している問題やつい先送りしてしまう課題など、様々な産業分野でのものづくりに関わる企業様の「困りごと」について、お話を聞かせてください。そうした対話にもとづいて解決策を生み出していくことこそが「協働」として私たちは考えています。

『 ビ ジ ョ ン 』

KOBELCO未来協働研究所は「社会の持続的発展のために、人がシステムと共に成長しながら、創造性豊かにイキイキと活躍できるものづくりの世界を実現する!」をビジョンに掲げ、KOBELCOの多様でリアルなものづくり経験と大阪大学のAIをはじめとする研究資源を融合し、新事業の核となるソリューションを創出していきます。

私たちが目指すソリューション

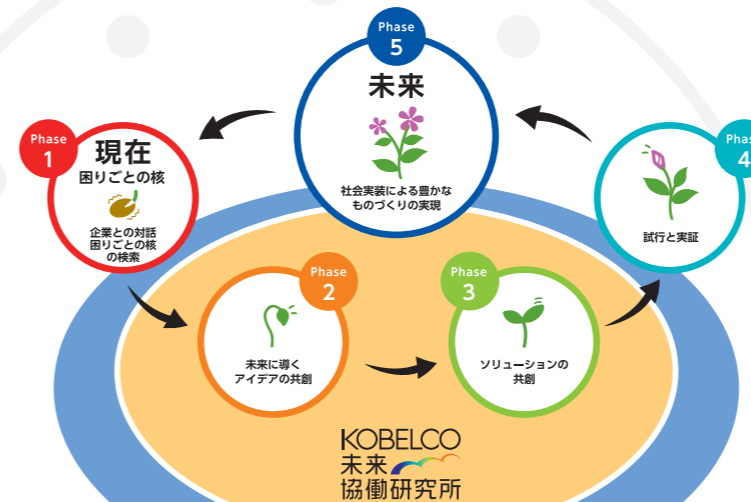
ありたい未来像・実現したい未来像からバックキャスト型で発想する未来洞察と、企業様との対話による「困りごと」の探索から、人がシステムと共に成長しながらイキイキと活躍できるものづくりの世界を実現するためのソリューションを生み出していきます。

使って初めて
価値に気づくような
ソリューション

この社会に
まだない
ソリューション

現場や社会に
感動を与える
ソリューション

未来協働研究所の取り組みフェーズ



START!

Phase1 企業との対話困りごとの核の探索

未来洞察と企業様へのヒアリングや調査を通じて、ものづくりを進化させる「困りごとの核」を探索します。

Phase2 未来に導くアイデアの共創

「困りごと」に隠れたニーズに着目して、ワークショップやディスカッションを通じて協働しながらアイデアを生み出します。

Phase3 ソリューションの共創

課題解決へ向けて、大学の様々な先進技術や神戸製鋼のものづくりの経験、世の中の技術や仕組みを掛け合わせてソリューションへと作り上げます。

Phase4 試行と実証

実用化に向けて、小さな試行と実証を繰り返しながらブラッシュアップしていきます。

FUTURE!

Phase5 社会実装による豊かなものづくりの実現

様々なものづくりの現場で活用いただけるよう製品化し、社会実装を通して豊かなものづくりの実現に貢献します。



基礎研究にとどまらず、研究成果を産業界や社会変革に生かす取り組みを行う。特に、AIなどのデジタル技術分野では、世界トップクラスの実力を持ち、社会実装を通じたさらなる研究の深化に取り組む。



DX戦略方針として、「社会課題をお客様と解決する、製品ならびにソリューションのプロバイダーを目指す」掲げる。多方面にわたる事業分野で培ったデジタルソリューションを社内だけでなく、社会課題の解決に広く展開することを目指す。

